

## 本号のトピックス

## 岡山県作業療法士連盟として行う 政治活動のご紹介

「岡山県作業療法士議員連盟の会長である  
わたなべ英気先生との懇談会」報告

～今後の岡山県作業療法士連盟について～



※開催日: 令和4年8月24日  
※参加者: 岡山県作業療法士連盟から4名  
二神会長・大月副会長・廣田渉外部部長・難波理事(広報部)

(以下、報告者: 難波加恵 理事)

令和4年8月24日(下旬)、岡山県作業療法士議員連盟の会長であるわたなべ英気先生、岡山県作業療法士連盟の二神会長、大月副会長、廣田渉外部部長と5名で、今後の岡山県作業療法士連盟についてお話をする懇談会を行いました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、私自身わたなべ先生に実際にお会いするのはこの日が初めてで、またこのような席に参加させていただいて良いものかと大変緊張していました。しかし、わたなべ先生は大変お元気で優しく、笑顔の素敵な先生で、和やかな雰囲気の中、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

先生は、岡山県議会議員として今まで関わって来られた活動やこれからのことについてお話してくださいました。

一緒に過ごさせていただく中で驚いたことは、作業療法士や理学療法士という職業についてよく知ってくださっていることでした。

とても印象に残っている言葉があります。何度も何度もいただいた熱いメッセージです。

「療法士の処遇改善についてどうにかしていかなければならない！」  
「処遇の部分で苦勞し、この職を離れなければならない若者が出てしまうようなことがあってはいけない」  
「これからこの職業につき生活していく若者が正当に評価され、  
賃金を得て自分たちのやるべき役割を果たすことが、出来るようになって欲しい」

お話をさせていただき、リハビリ職の必要性を感じてくださっているのだと強く感じる事ができ、また将来の若者のことを大事に思ってくださいているのだと、大変ありがたく感じました。

そして会の終盤では、連盟の活動へのアドバイスをいただきました。

「どんどん要望ややりたいことがあれば、伝えて欲しい！！」

「そして1度で通らなくても、諦めず何度でも伝えてほしい！」

「その声を、国に持っていくのが自分たちの役割だ！！」

県政・国政という構えてしまい、自分たちの思うことを伝える(要望を出す)ためには多くの手続きが必要で、時間もかかり難しいものだろう！！と思っていました。

しかし、はっきりとこのようにおっしゃってくださる わたなべ先生を大変心強く感じ、先生のように私達を理解しサポートしてくださる議員の先生方を増やし、サポートしていただけるように活動していかなければならないと感じました。

それと同時にサポートしていただくためには、自分達もしっかり動いていかなければ何も変えることはできないと身が引き締まりました。

現在、二神会長を中心に県政に国政に小さな風穴をひとつ開けるべく岡山県作業療法士連盟は活動しています。

そのためには、皆さんの協力が必要不可欠です。わたなべ先生のように作業療法士を応援して下さっている議員さんがいるという事を一人でも多くの方に知っていただけましたら幸いです。

#### ※補足： 渡辺先生に関するQ&A

～わたなべ先生が、作業療法士理学療法士について詳しく、このように感じてくださっているのは何故？～

わたなべ先生は、ご親戚にお医者様がいらっしゃるため、医師をはじめ療法士にも日頃から関心を持ってくださり、現場の様子をよく知ってくださっているからです。

～中でも、就労支援や障害者雇用について応援して下さっているように感じるのは？～

わたなべ先生は、障害者団体での役割も持たれており、団体を通じて日頃から活動されているため、そこでの療法士の役割に関心を持ってくださっているようです。

( 次ページ = わたなべ先生の紹介ページ )

# ☆ 岡山県議会議員 わたなべ英気 先生 についてご紹介！

(承諾を得て、わたなべ先生紹介パンフレットの一部を掲載させていただきました)



## 未来に輝く 岡山県づくり

- 倉敷みなと大橋による、コンビナート活性化と、人工島への企業誘致
- 倉敷駅付近連続立体交差事業の完成
- 国道2号線岡山倉敷立体事業の完成
- 県道倉敷飽浦線バイパスの事業化
- 倉敷市新田の交通渋滞の緩和



## コロナや難病に負けない、 お年寄りや子どもにやさしい 岡山県づくり

- 基礎疾患のある方々へのコロナワクチン早期接種
- 岡山県で、最初にクラスター対策費を活用
- 難病団体連絡協議会の方々と連盟会長として要望
- 病院や福祉施設、看護や福祉作業員の待遇改善の要望



## 災害に強い 岡山県づくり

- 高梁川の堤防改修
- 高梁川鶴新田高潮耐震工事
- 酒津の陸間の整備
- 新連島水門耐震工事
- 倉敷川・六間川改修整備
- 末政川系真備地区の河川整備



## スポーツを通じ 子どもたちの環境整備

- 国体やインターハイ・オリンピックを目指す環境を
- 小学生や中学生が、スポーツを自由にできる環境を
- 岡山県剣道道場連盟顧問・水島地区柔道連盟会長として各大会の開催・応援



## 子育てがしやすく 女性が安心して働ける岡山県づくり

- 少子化対策には、子ども達の学費・医療費の無料化
- 待機児童ゼロ作戦の推進
- 保育サービスの拡充
- 産休制度、育児・介護休業法の改正
- 放課後児童クラブの充実
- 安心して学校に通わせる為の学校警察連絡室の充実継続



2019年(令和元年)9月20日

## 「岡山県作業療法士議員連盟」

作業療法士の政策活動を支援する議員の集まりとして、全国発足した当議員連盟。

当議員連盟の中でも、わたなべ先生は中心적으로ご尽力くださっています！

今後、学集会等でも、当議員連盟に所属する先生方と意見交換する機会を計画中です。



## その他の政治活動(今年度)

☆ その他、作業療法士の職能団体として、具体的な要望を政治家の先生方へ適宜進言する活動をしています。

要望内容につきましては、岡山県における作業療法士職能団体として主たる中心組織である「(一社)岡山県作業療法士会」の理事会と協同しながら、要望内容を検討しています。

今号では、2つほど活動を紹介させていただきます。

### ◎ 令和4年11月7日「倉敷市 生水副市長へ要望書提出」

～電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付による、  
医療機関及び介護・障害福祉事業所等に対する  
エネルギー・食料品価格の高騰分などの支援の実施～

令和4年11月7日、  
電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付による医療機関及び介護・障害福祉事業所等に対するエネルギー・食料品価格の高騰分などの支援の実施について、生水哲男倉敷市副市長に要望書を提出してきました。

私たち作業療法士が所属する医療機関、介護施設、障害福祉サービス施設等でも、継続する新型コロナ禍においても、患者・利用者等に安心・安全で質の高いサービスが提供できるよう、物価高騰への支援を訴えました。



#### ～（補足）この交付金について～

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた事業者に対して、地域の実情に合わせて必要な支援を実施する自治体の取組に、重点的・効果的に活用される仕組みへと見直しを図りつつ、対策を一層強化するために創設されたものです。

予算額は6,000億円 / 岡山県には54億6,200万円が配布されています。

◎ 令和4年11月26日

「公明党政策要望懇談会」へ出席し意見交換

【日時】 令和4年11月26日(土)  
10:40~11:10

【場所】 岡山国際ホテル

【内容】

- ・要望・写真撮影・名刺交換
- ・公明党挨拶ならびに議員紹介
- ・岡山県作業療法士連盟挨拶  
ならびに出席者紹介
- ・要望(二神会長)
- ・意見交換・質疑応答

【参加者】

- ・谷合正明参議院議員  
(岡山県本部代表)
- ・増川英一岡山県議会議員  
(代表代行)
- ・山田総一郎岡山県議会議員  
(副代表)
- ・田尻祐二岡山市議会議員  
(副代表)
- ・中原淑子岡山市議会議員  
(副代表)
- ・新垣敦子倉敷市議会議員  
(女性局長代行・団体局次長)
- ・角谷忍参議院議員谷合正明秘書  
(政策局次長)
- ・二神雅一会長  
(岡山県作業療法士連盟会長)
- ・廣田理事  
(同県連盟 渉外部部長)



【総評】 (廣田)

名刺交換、自己紹介の後、二神会長より、作業療法についての説明と作業療法士を取り巻く現状について、報告致しました。

要望については、下記①~③の要望書を持参し、各要望内容の具体的な説明を行いました。

- ① 訪問看護ステーションにおけるリハ関連職人数制限案反対に関する要望書
- ② 保育・教育機関における作業療法士の活用に関する要望書
- ③ 医療機関における作業療法士の活用に関する要望書(食に問題を有する子どもへの指導)

また、事前準備していた公明党政策要望懇談会の別紙資料にも触れながら、「作業療法とは何か」といったことも説明しながら、「作業療法士には今以上に幅広い分野で活躍できる場がある」ということを伝えました。

意見交換時には、谷合参議院議員より、「公明党内にもリハビリテーション議連を作ってはどうか」という提案も出るなど、双方にとってより深く意見交換が出来ました。

また、中原岡山市議会議員は精神疾患のある方に対する作業療法士のカウンセリングや患者・利用者との寄り添い方を肌で感じる機会があり、「作業療法士の職域の広さを実感している」といった声も意見交換時に話されました。

一方で、市民・県民の皆様が作業療法について理解を深める必要性を説かれ、自治体に対しても働きかける機会を検討したいというメッセージをいただきましたが、我々自身ももっと作業療法について啓発する機会を増やす努力が必要ではないかと感じる時間でもありました。

## 会長からのご挨拶

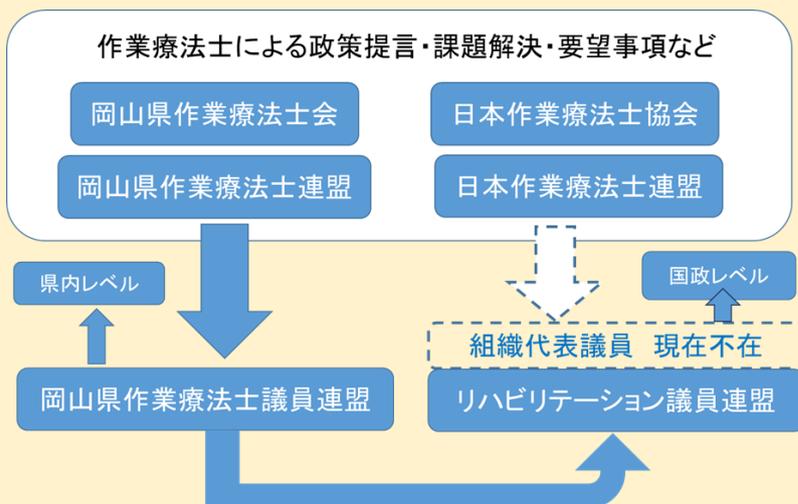
平素は連盟活動にご理解とご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、私たちの業務にも大きく影響するトリプル改定の議論が進んでいくタイミングで、組織代表が国政の場での議席を失ったことは大変残念でありました。一方、その部分を補うためにも地方議員との関係強化が大変重要だと考えています。岡山県では約3年前に、自民党の県議会議員の方々に、わが国初となる作業療法士議員連盟を立ち上げていただきました。連盟の存在意義は作業療法士を組織代表として議会に送り出すことにありますが、残念ながら現時点ではそこまでの力が育っているとは言えません。総会でも発信させていただきました通り、現時点で作業療法士を議員として擁立する考えはありません。その代わりに作業療法を理解していただける議員の方を増やしていこうという方針を明確に打ち出しました。

こうした活動を通じて気付いたことは、県議会議員の方々は国会議員とも深い関係を構築しておられることです。例えば、岡山県作業療法士議員連盟の会長である渡辺英気議員は、リハビリテーション議員連盟(リハ議連)の役員をしている橋本岳衆議院議員の選対委員長を務めた関係にあります。ですから県の問題だけでなく国レベルの問題であっても岡山県議会を通じて質問をしたり、リハ議連に対して要望活動や政策提言をお願いすることも可能になります。会員の皆様には少し解りにくいかもしれませんが、現在精力的に取り組んでいることは図に示しているような関係を構築することなのです。このような活動が各地域に広がれば、さらに作業療法士が活躍できる環境が整備しやすくなるものと考えます。そういう意味では、来春執り行われる岡山県議会議員選挙は我々にとっても大変重要で意味のある選挙になります。ご協力をお願いいたします。

改めてですが、なぜ政治活動が重要になるのでしょうか。私たちの職務に大いに関係する法律をつくり、そこに配分される予算を決定するのは厚生労働省ではなく、全て選挙で選ばれた代表が審議をする議会の場で行われるからです。それが民主主義国家の在り方です。したがって、職能団体は本来その事実から目を背けたり逃げたりせず、また、政治の良し悪し好き嫌いという理由で態度を変えるのではなく、真正面から向き合って取り組んでいくべき課題と言えます。社会に貢献している作業療法士が正当に評価され、社会的地位を高めるためにも議会で発言する政治家に私たちのことを深く理解していただく必要があると思いませんか。そして、私たちを必要としている人たちの健康や幸福を増進することに繋げなければならないと思うのです。今後も連盟活動にご協力と力強いご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

末筆になりますが、一日も早く新型コロナウイルス感染症の終息と、皆様方のご健勝を心からお祈り申し上げます。



## 会員募集中！

### 【窓口】

岡山県作業療法士連盟 事務局（株式会社 創心會 内） 担当:岩井

〒710-1101 倉敷市茶屋町2102-14

TEL:086-420-1500 FAX:086-428-0946

E-mail: h.iwai@soushinkai.com

個人情報の取扱い	<ul style="list-style-type: none"><li>・入会の際にいただく個人情報:<ul style="list-style-type: none"><li>①氏名</li><li>②日本作業療法士協会 会員番号</li><li>③勤務先</li><li>④メールアドレス</li></ul></li><li>・ご記入いただいた個人情報は厳正に管理し、当連盟活動に関わる場合以外は一切使用いたしません。</li></ul>
年会費	<ul style="list-style-type: none"><li>・年会費の特例措置として、新入会者は、全員初年度を無料とします。(年会費 2,000円)</li></ul>

### ☆入会等の会員登録手続きの窓口について

「岡山県作業療法士連盟」のホームページから、入会等の会員登録手続きが可能です。そちらをご活用ください。

## 編集後記

今年も1年、コロナ対応など激動の1年であったと思います。連盟活動につきましても、参議院選挙などの際には大変お世話になりました。当県連盟活動も目の前の状況に淹応しながら成長している段階といえます。当組織もまだまだ未熟な故、皆様からの声をいただきながら作業療法士の未来に向けて微力ではございますが尽力させていただければと存じます。来年も引き続きご理解ご協力のほど、宜しく願い申し上げます。

2023年が、会員の皆様および支えてくださる皆様方、そして、作業療法の職能団体、ひいては作業療法を通じて関わる方々にとって、良き1年となりますようお祈り申し上げます。